

# はじめに

本年 2022 年は日中国交正常化 50 周年・静岡県浙江省友好 40 周年記念の年として、大日本報徳社、静岡県日中友好協会及び地区協会、静岡県日中友好協議会、松本亀次郎記念日中友好交流の会、そして李徳全研究会の各々団体が中心となって実行委員会構成団体を結成し実施された。

期間は 8 月 24 日～9 月 18 日

(4 拠点 西部会場 中部会場 掛川会場 東部会場)

今回は東部会場 9 月 16 日～18 日 沼津市フラサヴェルティで開催された記念行事を紹介する。

## 1. 開会式 9 月 15 日



渡邊会長 ご挨拶



合唱団のリードで虹の架け橋斉唱



集合写真

## 2. 「松本亀次郎・李徳全」に学ぶ講演会

実施日 9 月 17 日 14:00～16:00

## 3. 日中子ども写真展(日中の未来を担う青少年写真展)

実施日 9 月 16 日～18 日

〈特別参加〉東部地区写真展

## 4. イベント事業として

- 1) 昆劇、詩吟の競演、ピア/&歌(9 月 17 日)
- 2) ドローン操縦体験 (9 月 18 日)
- 3) 写真撮影会 (9 月 18 日)

を行った。

第一部は「中国人留学生教育に生涯を捧げた松本亀次郎を語る」松本亀次郎  
記念日中友好国際交流の会名誉会長東京学芸大学名誉教授 鷲山恭彦様 講演。

第二部は「中国残留邦人 32,000 人の帰国に尽力した李徳全を語る」

李徳全研究会分代表 安間孝明様のご講演



鷲山恭彦教授 講演



安間孝明副代表 講演

## 1. 日中子ども写真展(子供たちに友好の未来を)

写真家岡本央(さなか)が撮った子供たち 以下文章の一部抜粋。

私はかつての懐かしい幸せな光景を、ある地で目にする事となる。それが中国だった。どこへ行っても、無限の夢と希望に満ちた子どもたちであふれていた。その背景にあったのが、当時日本の子どもたちが失いつつあるもの「生きる力」「故郷の宝」「家族の絆」「自然との触れ合い」など。私は二十数回にわたり中国各地を訪れ、都会、農村村、漁村、大草原等々さまざまな地で暮らす中国の子どもたちを夢中で撮り続けた。



### 東部地区独自の写真展「日本と中国の子ども達の交流」をテーマとして

中国の子ども達と日本の子ども達(二人)一週間のサマーキャンプ共同生活写真集。日本の二人は大学生となりあの当時のノートを基に制作してくれた。当時小学生二人の異文化交流はカルチャーショックの連続。



純粋な笑顔がすばらしい



サマーキャンプ写真集



仲間の絆

#### 1) 昆劇、詩吟の競演、ピアノ&歌



中国舞踊



二胡の演奏



ピアノ&中国の歌

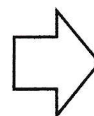
#### 2) ドローン操縦体験



#### 4) 写真撮影会



写真撮影



撮影した写真のプリント出力

日中国交正常化50周年記念行事参加者集計(参考)

9月度	写真展		講演会		イベント		ドローン/写真撮影		累計(人数)
	一般	担当役員	一般	担当役員	一般	担当役員	一般	担当役員	
15日	0	18							18
16日	12	23							35
17日	101	39	77	10	35	20			282
18日	20	28					25	10	83
小計	133	108	77	10	35	20	25	10	418
合計		241		87		55		35	418

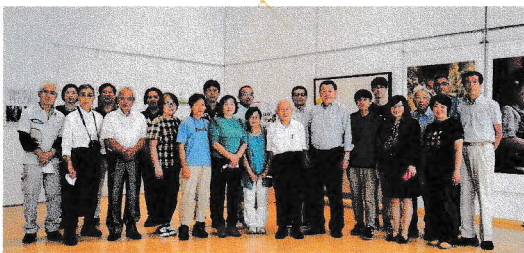
印象に残った場面紹介(会員様より提供して頂いた写真より抜粋した)



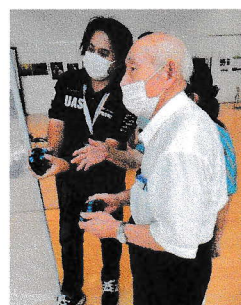
講演会終了後、渡邊会長のお礼挨拶  
 今回のテーマとして子ども達の未来  
 そして「先人に学ぼう」  
 東部地区として今回の記念行事の「と  
 り」の役割を果たせたと思う



写真撮影者はアマチュア。「心技体」  
 でベストショット。決してアマチュ  
 アとは見えなかった。



この1枚の写真は9月18日の片付けが終了  
 後の集合写真です。  
 なんだかみなさんほほえましい笑顔、笑顔  
 です。



何事にも挑戦する姿勢。  
 素晴らしい。